

岐阜県立下呂温泉病院経営強化プラン 令和6年度実績に関する評価（意見）

1. 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

項目	指標		参考実績 (令和4年度)	達成目標 (令和9年度)	令和6年度	課題及びその改善策	意見等
(1) 医療機能に係るもの	救急搬送受入 件数	実績値	967	1,060	1,215	・院長主導のもと断らない医療を推進し、救急搬送受入件数増等、目標を大きく上回る成果を上げた。今後も取組みを継続していく。	へき地であることを考慮するとよく頑張っている。
		達成率			114.6%		
	救急からの入院 件数	実績値	667	670	903		
		達成率			134.8%		
	手術件数	実績値	430	440	492		
		達成率			111.8%		
	リハビリ件数	実績値	26,754	29,000	41,881		
		達成率			144.4%		
(2) 医療の質に係るもの	患者満足度 (入院)	実績値	78%	85%	80%	・患者満足度（入院）については増加したが、（外来）については常勤診療科減の影響もあり微減となった。引き続き、エージェント登録等による医師の確保に務める。 ・令和5年8月から運用開始した療養病棟を活用しつつ、急性期病棟、地域包括ケア病棟、回復期病棟の各機能を連携させ、急性期から在宅復帰までの一貫した医療を提供体制を構築した。	外来は、ひとえに医師数が患者満足度に直結するが、業者に依頼して高額な給料の医師を雇うと、ますます経営は苦しくなるため、根本的な見直しが必要である。
		達成率			94.1%		
	患者満足度 (外来)	実績値	44%	50%	43%		
		達成率			86.0%		
	在宅復帰率 (地域包括全体)	実績値	76.9	85.0	84.6		
		達成率			99.5%		
(3) 連携の強化等に係るもの	紹介率	実績値	35.2	39.0	43.8	・関係する医療機関との連携強化により紹介率、逆紹介率を大きく改善できたが、医療機器の共同利用や開放型病床の利用数が減少しているため、更なる周知を行う。	紹介、逆紹介ともに達成率はよいが、実数が低いのではないかと。機器や開放病床の利用は、そもそもの需要がないのではないかと。
		達成率			112.3%		
	逆紹介率	実績値	40.2	45.0	56.8		
		達成率			126.2%		
	臨床研修医の受入人数	実績値	10	10	14		
		達成率			140.0%		
	医療福祉相談件数	実績値	5,243	5,800	3,509		
		達成率			60.5%		
	医療機器の共同利用件数	実績値	148	170	117		
		達成率			68.8%		
	開放型病床の利用件数	実績値	45	50	32		
		達成率			64.0%		
(4) その他	健診センター受診者数	実績値	7,232	7,300	7,633	・健診受診者数については毎年着実に増加しており、収益も増加している。また、令和6年6月から禁煙外来を開設する等、新たな取り組みも開始している。 ・令和6年度から岐阜大学医学部医学科学生の実習体験実習、夏季（地域体験）実習及び選択臨床実習の受け入れを開始した。今後も地域医療を目指す医師の養成に取り組む。	健診はよく頑張っている。
		達成率			104.6%		
	認定看護師数	実績値	6	8	8		
		達成率			100.0%		
	特定看護師数	実績値	1	2	3		
		達成率			150.0%		
	臨床研修医の採用人数	実績値	2	2	2		
		達成率			100.0%		

※達成率＝当該年度実績値／達成目標の値（パーセントで小数第1位まで記載）

2. 経営指標に係る数値目標

項目	指標		参考実績 (令和4年度)	達成目標 (令和9年度)	令和6年度	課題及びその改善策	意見等
(1) 収支改善に係るもの	経常収支比率	実績値	94.7	94.6	79.2	・経営改善コンサルタントとの協議を複数回行い、診療規模に合った病床ダウンサイジングと在宅医療開始等による収益の増加についてシミュレーションを行った。今後も医療の質を担保しながら収支改善に向けて取り組んでいく。	今の診療体制では改善できないのはやむを得ない。
		達成率			83.7%		
	医業収支比率	実績値	97.4	96.4	81.4		
		達成率			84.4%		
	修正医業収支比率	実績値	64.0	80.9	64.0		
		達成率			79.1%		
(2) 収支確保に係るもの	初診患者数	実績値	8,619	8,700	7,175	・院長主導のもと断らない医療を推進し、新入院患者数は増加したが入院診療単価が減少している。 ・経営コンサルタントの支援を受けて医療機能再編プランを作成し、令和6年度末に許可病床数を198までダウンサイジングするとともに、急性期病棟の1病棟化やそれに伴う地域包括ケア病棟の活用等により経営改善を図る。また並行して在宅医療への取組みも開始していくことで外来収益の向上も目指す。	
		達成率			82.5%		
	新入院患者数	実績値	1,843	1,900	2,054		
		達成率			108.1%		
	一日当たり入院患者数	実績値	113.9	129.7	126.9		
		達成率			97.8%		
	一日当たり外来患者数	実績値	257.1	292.1	249.8		
		達成率			85.5%		
	入院診療単価（全体）	実績値	41,635	45,549	39,041		
		達成率			85.7%		
	入院診療単価（療養病床）	実績値	-	21,825	23,838		
		達成率			109.2%		
	外来診療単価	実績値	13,541	15,408	12,722		
		達成率			82.6%		
	病床利用率（全体）	実績値	55.3	63.0	75.5		
		達成率			119.8%		
	病床利用率（療養病床）	実績値	-	75.0	75.5		
		達成率			100.7%		
	平均在院日数	実績値	15.1	15.0	12.4		
		達成率			82.7%		
(3) 経費削減に係るもの	給与費比率	実績値	103.3	80.0	103.1	・給与費比率は令和4年度と比べて微減となったが、依然として高い数値が続いている。全国的な賃金引き上げが進む中で安定したへき地医療継続のため、診療報酬の引き上げ等による対応が必要不可欠であるという実態が浮き彫りになっており、今後も適切な人件費負担を求めていく。 ・材料費比率については、後発医薬品の使用促進を図ることで令和5年度と比べて1千万円程度の薬品費圧縮に繋がったが、全国的な物価急騰により全体としては増加となった。	後発医薬品の使用率を上げるべきである。
		達成率			77.6%		
	材料費比率	実績値	14.4	14.3	15.3		
		達成率			93.5%		
	経費比率	実績値	29.9	25.1	29.6		
		達成率			84.8%		
	後発医薬品の使用割合（使用数量ベース）	実績値	42.4	65.0	69.9		
		達成率			107.5%		
(4) 経営の安定性に係るもの	医師数	実績値	27	27	30	・全国的にも医療従事者不足が深刻な問題となっているが、引き続き看護学生を対象としたインターンシップの実施や地元有缘のある人材の積極的な採用に努める。	
		達成率			111.1%		
	看護師数	実績値	240	240	217		
		達成率			90.4%		
	医療技術員数	実績値	75	75	69		
		達成率			92.0%		

※達成率＝当該年度実績値／達成目標の値（パーセントで小数第1位まで記載）※(3)給与費比率・材料費比率・経費比率は達成目標の値／当該年度実績値（パーセントで

3. 経営強化プランを達成するための各種取組みの状況

項目	令和6年度の業務実績・課題及びその対策	意見等
地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能	・高齢化が著しい当診療圏にて特に需要が高まっている慢性期医療に対応するため、令和5年度から開設した療養病床の更なる活用について検討を行い、令和7年3月に20床から28床へ増床した。 ・中山間地域におけるへき地中核病院として産科、小児科、救急医療等政策的な医療提供体制の維持・推進を目指したが、医師不足に伴い、産科医療については分娩取扱の中止及び小児科医療については夜間対応等の縮小を余儀なくされた。	へき地において、住民に望まれることをすべて満たすことは不可能である。患者の搬送を充実させ、初期医療に徹するのが得策ではないか。
機能分化・連携強化	・経営コンサルタントを交えた下呂市立金山病院との連携協議を複数回行い、当院診療圏における効率的な医療提供の方向性について確認を行った。今後、医療機能連携協定の締結に向けて取り組んでいく。	
働き方改革への対応	・令和6年度から始まった働き方改革の実現に向けて、ICカード導入による入退庁管理システムの構築や宿日直許可取得による外部からの派遣医師確保を継続し医師の業務負担軽減を図った。	
職員の勤務環境の向上	・柔軟な勤務時間体制を推進し、育児部分休業等の取得しやすい環境を整備した。	
新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組み	・新興感染症への対応を踏まえて県主催の新興感染症対策対応力強化研修へ参加し、新興感染症発生時に速やかに対応できるよう職員への教育を推進した。	
施設・設備の適正管理と整備費の抑制	・保守委託業務の見直しを図り、緊急性の低い業務を随時保守へ変更する等により維持費の削減を図った。	
デジタル化への対応	・遠隔読影の導入に向けて調整を進め、令和7年度から運用を開始した。 ・事務系端末用にIT資産管理システムを導入しセキュリティ強化を図った。	
経営の効率化等に係る目標達成に向けた具体的な取組	・経営コンサルタントの支援を受けて医療機能再編プランを策定し、許可病床数や病床機能の見直しを図った。今後、人員配置や病床最大活用等のワーキンググループ毎に課題や解決策の検討を進める。	
その他特筆すべき事項		